

1	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <ol style="list-style-type: none">1) 子どもの思いに寄り添い、信頼関係の中で心の安定を図ります。2) 十分に養護の行き届いた環境の下に健やかな心身の育成を促します。3) 基本的な生活習慣を身に着けながら、自立心と自発力をはぐくみます。4) 友だちや家族を大切に思いやりの心をはぐくみます。5) 家庭や地域との共創により、子どもたちの成長を分かち合います。
2	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>(1) 職員に求めている人材像や役割</p> <ul style="list-style-type: none">・子どもの思いに寄り添い、愛情を持って保育を行うことができる。・保育理念を理解し、責任感と使命感を持って行動ができる。・協調性を持って、同僚に対して思いやりのある行動ができる。・子どもの安全や健康を確保し、自身の健康管理も徹底することができる。 <p>(2) 職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <ul style="list-style-type: none">・誰に対しても、誠意と思いやりのある行動ができる。・技術や知識の向上のために、積極的かつ自発的に学ぶ姿勢を持って行動ができる。・心身ともに健康を維持し、仕事の充実を図ることができる。

調査対象

2020年7月1日現在の施設の利用者(保護者) 5世帯(利用者総数 6名)を対象とした。

調査方法

アンケート(自記式)。施設にて担任が保護者に手渡しする形で調査票を配付。記入された調査票は封緘のうえ返信用封筒による郵送または施設に設置した回収箱による回収。

利用者総数

6

利用者家族総数(世帯)

5

共通評価項目による調査対象者数

5

共通評価項目による調査の有効回答者数

5

利用者家族総数に対する回答者割合(%)

100.0

利用者調査全体のコメント

・総合的な満足度としては、「満足」が 60%となっている。

●各カテゴリーのうち、「はい」の比率が高かった上位は、以下の項目であった。

問2. 園での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるものになっているか

問9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているとか (各々 100%、5人)

問1. 園での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか

問3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか、問6. 安全対策が十分取られていると思うか

問10. 職員の接遇・態度は適切か、問13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか

問14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか

問15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか (各々 80%、4人)

利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか 今まで役立っていたと思います、といった意見があった。	4	1	0	0
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか 特に意見なし。	5	0	0	0
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか 特に意見なし。	4	1	0	0

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	2	1	2	0
園児数が少なすぎるため、といった意見があった。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	1	2	1	1
取り決められた時間を変更して利用する事がないので不明です、といった意見があった。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	4	1	0	0
特に意見なし。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	2	3	0	0
特に意見なし。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	3	1	1	0
特に意見なし。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	5	0	0	0
特に意見なし。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	4	0	1	0
言葉遣いなど適切だと思いますが、コミュニケーションがそもそもあんまりとれていないです。といった意見があった。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	2	1	0	2
特に意見なし。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	2	1	0	2
特に意見なし。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	4	1	0	0
信用していいか分からない職員もいます、といった意見があった。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	4	1	0	0
特に意見なし。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	4	0	1	0
あまり説明を受けてません、といった意見があった。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	3	0	1	1
特に意見なし。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	2	2	0	1
特に意見なし。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリー1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリー1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリー1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている ○非該当
	●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している ○非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえ、意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている ○非該当
	●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している ○非該当
	●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている ○非該当
	カテゴリー1の講評	
	保育園の理念・ビジョンは職員会議等により周知をしている 本園では、理念、ビジョンについては、月1回開催する職員会議の時に確認を行うとともに、園内の朝夕の出勤時に確認できる位置に掲示を行っている。また、保育室にも基本理念の他に、職員のテーマ、保育のテーマ、10の姿について提示している。保護者に対しては入園時に理念等の説明を行う他に、保護者会(本年4月はコロナの影響で、個別面談に切り替え)で説明を行っている。	
	昨年末から、法人本部から園への支援体制を強化している 本園では、昨年度に虐待の問題が発生した後に、法人本部では園の支援体制を強化した。具体的には、園長の交代、本部の職員体制を1名体制から2名体制への強化、密室を作らないよう園内レイアウト変更、近隣アパートの一室を借りたことにより職員の休息場所の確保、保護者から園以外の相談先になるよう第三者委員の設置等を行った。職員会議には本部職員も参加するなど、コンプライアンスを遵守しながらも、職員が主体的に動くことのできる体制づくりに努めている。	
	保育理念の変更を令和2年4月から実施した 本園では、保育理念については、よりだれもがわかりやすい内容とするため、令和2年4月に保育理念の改定を行った。また、重要な事項の検討は、本部内の施設管理部署にて検討を行い、その結果を本部担当者から伝えている。保護者への連絡は、園全体でICTを活用したアプリを使用しているため、保護者のスマホ等に一斉連絡の形で伝えるようになっており、保護者が確認したかどうかを園では分かるようになっているため、未開封の方には声かけをしている。	

カテゴリ-2		
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリ-1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(○○○○○○)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(○○○)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(○●)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー2の講評		
<p> 保護者との面談や、第三者評価の導入により、保護者の意向把握に努めている 本園は、定員15人の小規模園ということもあり、保護者の意向把握は保護者との面談等で直接把握したり、第三者評価の導入により第三者機関が実施するアンケート調査にて意向の把握に努めている。また、日常においても、登園、降園時における会話や、スマホ等を活用した電子媒体での連絡帳により把握に努めている。職員の意向把握についても、年2回面談を行っている。 </p> <p> 福祉全体の動向は法人本部で情報分析等を行い、法人内の保育施設で共有している 本法人は、直営の認可保育園としては本園のみであるが、多数の企業内保育所やベビーシッター等の運営を行っているため、法人本部で各種情報を集計、分析する部署があり、特に本部自らインターネット調査を実施して、その解析結果を保育保育関連施設で共有する仕組みとなっている。最近では、コロナの影響による休園期間中に、ITツールを活用して園活動の可視化に努めるなど、工夫を行っている。 </p> <p> 中長期計画や、年度計画を策定し、計画に基づき園運営を実施している 本園では、2022年度までの中期計画を策定し、その中で事業収支計画など明確な数値を示した指標を設定している。また、年度計画についても毎年策定している。いずれも本部での策定となるが、保育に関する部分については園長と調整をしている。また、本年度は業務基準書を作成するとともに、「足立区教育・保育の質のガイドライン」について、コロナで休園中の時間を利用して常勤職員に周知を行った。なお、計画の推進にあたっては、見直しの時期を本年度から定めて実施する予定である。 </p>		

カテゴリ-3		
3 経営における社会的責任		
サブカテゴリ-1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	○非該当
サブカテゴリ-2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当
サブカテゴリ-3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当

評価項目2
地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○ 非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	○ 非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○ 非該当

カテゴリ-3の講評

第三者委員の設置や、職務基準書の作成などにより法・規範等の周知に努めている
 本園では、昨年度に虐待の問題が発生したことを受けて、利用者向けには第三者委員の設置を行い、保護者の方が何か疑問に思った際に、園や法人以外に相談が出来る先を設定したり、職務基準書を作成することで保育者が遵守すべき事項を明確にした。あわせて、法人のグループ会社を活用して、コンプライアンス窓口を設置して、非常勤職員を含めて利用できる相談先を設置した。なお、現時点では法や規範の周知に努めているが、今後は子どもの権利の問題等に関する周知・学習等をさらに深めていくことが期待される。

利用者に苦情解決制度等は、重要事項説明書や入園のしおりに明示している
 本園では、苦情解決制度については、重要事項説明書や入園のしおりに明示しているとともに、入園時に個別に説明をしている。なお、第三者委員が利用者のアンケート調査結果をみると、園以外の相談先については「知らない」に回答した人はいないため、ある程度は保護者への周知が進んでいる。但し、「どちらともいえない」に回答した方もいるため、引き続き園以外の相談先の周知に努めていくことが期待される。

小規模園であるが、地域向けのイベントを企画するなど、積極的な取り組みを行っている
 本園では、認可園としては定員15人の小規模園であるが、2020年度も本園が入居するマンションの方を対象とした地域向けの行事を企画し、マンション側との協議を進めてきたが、コロナの影響により中止した。その他にも、区主催の園長会や小規模保育園の会議は出席して情報収集に努めている。

カテゴリー4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリー1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	3/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる 評点(○○○●●)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解し対応できるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている 評点(○○○○)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー4の講評		
事業継続計画(BCP)の策定が期待される 本園では、災害等の手順書は整備され、それに基づき各種の訓練や備蓄等の実施を行っている。なお、事業継続計画(BCP)については、現在策定に向けて検討を進めていたが、検討途上でコロナの問題が出てきたため、感染症のケースも含めて事業継続計画(BCP)のあり方を検討している。なお、コロナによる緊急事態宣言中は、感染リスクを回避するため、在宅ワークを導入するなど、柔軟な対応を実施した。		
地震や感染症などに対応したマニュアルを作成している 本園では、地震等に対応するため、園の入るマンションの管理組合とも連携を図りながら規定の月1回の避難訓練を行うとともに、保育室の中で安全な場所等を明示している。また、嘔吐対策としては、どの職員も的確な対応ができるよう、園長、保育士、栄養士が話し合いを行い、だれもが分かる手順書を保育室内に掲示している。		
職員全体にプライバシーマークに関する教育を行うことで、情報漏洩防止に努めている 本園を管轄する法人全体ではプライバシーマークを取得しており、定期的に職員全員にプライバシーに関する教育や試験を行うことで、意識の向上を図っている。また、記録や連絡帳などは、電子媒体を活用しているが、IDやパスワード設定を行うことで管理を徹底している。また、園内の紙の書類については、職員室の施錠された保管庫の中で保管され、園外でも持ち出しは禁止している。		

カテゴリ-5		
5	職員と組織の能力向上	
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 10/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる 評点(〇〇●●)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる 評点(〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-2(5-2)

組織力の向上に取り組んでいる

サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況

3/3

評価項目1

組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に
取り組んでいる

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○ 非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○ 非該当
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○ 非該当

カテゴリ-5の講評

個人別の育成計画の策定が期待される

本園は、定員15人の小規模園であり、職員数も少ないため、その人の能力等を考慮した上で、積極的に園内研修を実施したり、キャリアアップの研修にも優先的に実施しているなど、積極的な研修を行っている。しかし、職員数が少ないこともあり、明文化した個人別の育成計画の策定はこれからの課題となっている。今後は個人別の育成計画を明文化することで、法人の示すキャリアパスとの関連性がより明確になるのではと想定される。

法人ホームページ内での求人掲載等、多様な形で人材確保を行っている

本法人は、認可保育園としては本園が初めての園であるが、法人としては公立保育園等への保育士への派遣や、企業内保育所の受託など、多くの保育士を必要とするため、法人ホームページ内に求人のページがあり、そこから勤務地等を選んで応募できるような工夫もなされている。なお、会社自体は大きく、多数の事業を行っているため情報は豊富な反面、直営の保育園勤務に関する情報の提示が少ないため、今後の充実が期待される。

職員の待遇改善のため、休憩用のアパートを借りるなど、努力を行っている

本園は、園が大規模マンションの1階に入っている関係で、職員の事務室が必要最小限の面積しかなく、職員の休息をとる場所がない状態であった。そのため、運営法人では昨年度、職員の待遇改善のため、園の至近距離の場所でアパートの1室を借り、そこを休息室兼おもち置き場にするなど、職員がゆっくと休憩できる環境を構築するなど、法人では職員の就労環境の改善に努めている。

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

運営会社の基本理念と、本園の基本理念を、よりわかりやすい形で職員等に周知していくことを課題と設定した。その目標実現のため、保育園と運営本部の連携の強化を図りながら、職員のモチベーションを少しでも改善していくことで、法人の基本理念の実現を図った。
 具体的には、本園に関わる本部職員を1名から2名に増員する。あわせて、本部職員が恒常的に、保育園に配置することで、運営が安定するまで関わる。また、園長や職員に対しては、他の園との交流や、研修等を積極的に行うことで、職員のスキルアップを行った。これらの施策は、昨年度虐待が発生したことを受けて積極的な改善を行った結果、本部と職員との関係がより深くなることで、法人の理念等を少しずつ具体化していけるよう改善した。
 今年度は、引き続き理念の具現化に向けて進む予定である。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

本園は、昨年(2019)11月に虐待の問題が発生するなど、それまでは理念の実現には少し遠い環境にあったが、12月以降は区や、新任の園長とも連携しながら、急速に改善を進める方向で進めてきた。そのため、今回記載した取り組みは、同年の12月から3月までの取り組み内容となってしまうが、取り組みを行い、検証し、次年度の計画に的確に反映が行われているため、上記の評価としている。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

前年度、虐待の問題が発生したため、再発防止を行ったことを取り上げた。
2019年11月に虐待の問題が発生し、その後、以下のような対策を行った。
まず、第三者委員(学識経験者)を選定し、保護者には何かあった場合の相談先として、職員(大多数の職員が交代したため、大半は新任)にはアドバイス等を与える存在とした。
また、保護者に対しては個別面談等を実施し、職員に対しては、多様な研修を行うなどして、職員の専門性の向上と、コンプライアンスの意識の向上を図った。
あわせて、職員の就労環境の改善のため、至近距離に職員休息用のアパート(1室)の借り上げ等を行いながら、新園長を迎え、本部の体制強化を図りながら改善を行った。
2020年度の年間計画では、昨年度実施できたことや、積み残した事項を分析して、より透明性の高い園運営を目指している。

目標の設定と取り組み	<ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った<input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった<input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った<input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)<input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた<input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない<input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

本項目は前年度の部分が、虐待発生後の対応から、本年度の事業計画にどのようにつながったかの記載となっている。それは園や法人が虐待の問題を重く受け止め、昨年度、可能な範囲で改善を積極的に行い、そこから本年度の計画にどのように進んでいったかを整理した。

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリー6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリー1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している 評点(〇〇〇〇)		
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している
	○非該当	
	●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている
	○非該当	
	●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している
	○非該当	
	●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の見学があった場合には、個別の状況に応じて対応している
	○非該当	
サブカテゴリー1の講評		
マンションの1階にある恵まれた環境を活かし、保育を発信している 本園は、足立区が認可する乳児を対象とする小規模の地域型保育園である。園の情報は、足立区のホームページ、保育園のホームページを通して発信している。区のホームページ掲載の情報は、定期的に区からの確認があり、情報を更新している。また、本園の立地上の特徴として、大規模マンションの1階に保育園が設置されており、マンションのキッズスペースや遊具も利用できるようになっている。現在の利用者にはマンション居住者も多く、1階に響く子どもの元気な笑い声など、日々の保育活動そのものが、発信になっている。		
利用希望者の要望に添って見学を行い、口頭での丁寧な説明を大切にしている 見学の要望に対しては、電話で申し込みを受け、見学者が保育園生活のどこを見学したいか希望をうかがい、日時を定めている。乳児見学への対応は園長が行うが、定員15名の小規模な園舎のスペースに配慮し、1回1名としている。乳児の保護者であるため、食事の様子への見学要望が多い。見学の資料には、保護者の関心の高い、持ち物や保育時間などを明記している。保護者に伝えるべきことは、資料のみに頼らず、口頭で丁寧に説明することを大切にしている。		
コロナによる休園中もオンライン保育園を実施し、プレスリリースなどで発信している 現在の利用者の定員にはまだ余裕があり、積極的な入園児募集の活動を行っている。コロナ禍により、実施の見通しはまだ立っていないが、併設されるマンションに対しては、管理人を通じ、マンション向けの保育活動の企画、保育園のお誕生会への参加のよびかけなどの発信を準備している。また、緊急事態宣言前後では、法人として、保育園休園中の「オンライン保育園」として、クラスを担当する保育士、子ども、保護者をオンラインでつなぐなど、特色ある活動を行い、プレスリリースしている。		

サブカテゴリー2			
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当	
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当	
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当	
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当	
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○非該当	
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○非該当	
サブカテゴリー2の講評			
<p>入所に際しての手順や書式を法人として定め、説明後に同意書を作成している</p> <p>区役所からの入所決定を受けた後の入所手続き等一連の対応は、手順を明確にして対応している。区役所からの書類を保護者に渡した後は、直接保護者と園でやりとりをしている。入所説明時に、重要事項説明書に基づき、保護者への説明を行っている。説明した後に、法人で定めた書式で、説明に対する同意書を記名押印していただいている。入所面接時の記録は、小規模保育施設用として様式を法人共通で定めたものに、記載している。</p> <p>園長は保育室に入るなどして、保育士への目配りを積極的に行っている</p> <p>慣れ保育には、0歳児の場合は、開始前に親子で遊びにきてもらい、様子を観察している。2日間親子で一緒に過ごしてもらい、その後、おやつを食べる、昼食を食べる、午睡をする、午後のおやつを食べるなどで様子を見ながら、担任と相談をしながら進めていくようにしている。定員15人のフラットなスペースで園長は積極的に保育室の中において、保育士の活動に目配りをしている。慣れ保育中には、特に、おやつなどの摂取状況、水分補給の状況など注意すべきポイントを職員にも伝え、子どもの不安や安全に配慮するようにしている。</p> <p>保護者の安心のために、口頭での1日1回のコミュニケーションを課している</p> <p>フラットな保育室の良さを生かし、朝夕担当の職員以外でも子どもの様子や保護者の不安を聞き取って、職員間で情報を共有し、保護者の安心の確保につなげている。連絡帳は、ICT化によりパソコンによる入力であるため、入力に追われて保護者との口頭でのコミュニケーションが疎かにならないよう、1日1回、保護者とコミュニケーションをとり、保護者の安心につなげたいと考えている。</p>			

サブカテゴリ-3		
3	個別状況に応じた支援方針作成・記録	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 10/12
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している 評点(○○○)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している 評点(○○○○●)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している 評点(○●)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4

子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当

サブカテゴリ3の講評

子どもの記録は、専用ソフトを導入して誰もが把握できる状況になっている

子どもの記録は、専用ソフトを導入しており、記入された内容は、全職員が閲覧できるようになっている。専用ソフトで記録できる情報は、連絡帳、登降園チェック、保育日誌、健康チェック、食事チェック、計画機能などであり、保護者のニーズについては、面談記録に残している。アセスメントについては、足立区のガイドラインにもとづき、年間予定に実施時期を明記して、見直しを行っている。

指導計画の見直しの時期および手順については令和2年度末より実施する予定としている

指導計画は、全体的な計画を踏まえて作成しており、作成には、専用ソフトを活用している。0～2歳の全園児には個別計画を作成している。園だよりを通して、ねらいを明記し、具体的な行事や活動を伝えている。また、月案に対応する1週間の活動を園内に掲示したり、具体的な保育内容の年間の一覧表を作成し、保育室の壁に貼りだし、体操や制作、歌などの計画を活用できるようになっている。一方、指導計画の見直しの時期や手順については、必ずしも確立できていない部分があるため、令和2年度から、年度末の業務に加えることとしている。

職員がとらえた子どもの姿を、写真などのドキュメントも活用し記録してほしい

子どもの情報は、専用のアプリを用い、定められたフォーマットに記録が行われている。一方、その記録を通して、指導計画に沿って保育を行った結果、どのような子どもの姿が見られたかなど、子どもの様子の変化が把握されるようになるには、さらなる使い方などの向上には余地があると考えられる。現在、職員の口頭での共有にとどまっているため、職員がとらえた子どもの姿を、写真などをドキュメントにするなどの活用方法を検討し、記録するなどに取り組んでほしい。

サブカテゴリー5			
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当	
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当	
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当	
サブカテゴリー5の講評			
<p>戸外での水遊びには、着替えの場所や目隠しなどを配慮している</p> <p>日常の保育におけるプライバシーへの配慮については、今年度は、コロナにより戸外遊びや、外での水遊びの機会はなかったものの、通常の対応としては、水遊びの前に着替えやシャワーの手順を職員と相談し、人目に触れない場所での着替えや、目隠しの設置などを対応するようにしている。子どもに関する情報を外部とやりとりする必要がある場合の対応は、あらかじめ、定められた書式で保護者の同意書の提出を得ている。</p> <p>虐待を防止する組織的な学びの機会を、計画的かつ継続的に行ってほしい</p> <p>昨年のお事故事例を踏まえ、法人からも本部職員が園運営に深くかかわり、園と一体となって様々な改善に取り組んでおり、改善進捗状況確認シートなどでも一連の対応が確認できた。こうした事故の経験を契機として、職員一人ひとりが虐待のリスクに早期に気づき、現場の中から、その芽が摘まれるよう、子どもの権利に対する園内研修を4月以降実施している。なお、園外研修は計画を策定したが、コロナの影響で当該の研修会が中止となったため、全国保育士会のセルフチェックシートなども活用し、より底上げに取り組みたいと考えている。</p> <p>子どもの権利について知る本を増やすなど、権利に触れる機会を持ってほしい</p> <p>子どもの権利を学ぶことは、ひいては、職員の権利の確認や、人権の理解にもつながるものと考えられる。児童養護施設の子どもたちが、必ず配布される「子どもの権利ノート」や、子どもの権利についての絵本を園に置くなどして、保育園全体で、子どもの権利についての知識を深め、保育実践につなげる素地を豊かにしていくことを期待したい。</p>			

サブカテゴリ-6		
6	事業所業務の標準化	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 3/5
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている 評点(○○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている 評点(●●)		
評価	標準項目	
○あり ●なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
○あり ●なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当
サブカテゴリ-6の講評		
保育園で活用する手順書の一覧を作成し、今後の改訂に活用したい 保育園で活用する手順書は、一冊にまとめられ、園長の執務室に保管されている。日常的に使うものは、各自1部ずつ持参している。現在、保育園の運営や保育に必要な手順書として何が整備されているのか、一覧表と変更記録を作成し、今後の改訂や追加に活用できるようにすることを期待したい。また、基本手順の見直しなどは、特に定めておらず、フロアの会議で随時共有して対応しているが、徐々に体制を整え、計画的な更新が行われるよう検討も期待したい。		
手順書には、方針や意図を明記して方法がぶれないように検討が求められる 手順書には、方法だけ記載するのではなく、なぜ、その方法が必要なのがわかるように、方針や意図、あるいは手順を定めた背景や理由などもあわせて、書いておくようにしたい。そのことによって、方法そのもの(行い方、行うこと)が目的となるのを避けることができる。また、目的が変化すれば、それにあわせて、手順や方法もあわせて見直すことが必要である。方法と目的をセットで、考えていくことが求められる。		

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ-6-4)

サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	35 / 35
サブカテゴリ-4			
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	○非該当	
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当	
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当	
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつぎ等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当	
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	○非該当	
評価項目1の講評			
<p>保護者の情報から子どもの実態を把握し、子どもが遊び込める環境を提供している</p> <p>入園時には保護者から家庭での生活状況を聞いて把握したり、個人面談では個別の子どもの状況を聞く機会にしている。また、0歳児から2歳児までの園で子どもの人数が少ないので、登降園時には保護者とゆっくり話すことができる環境を活かし、子どもの状況を丁寧に聞き出すようにしている。保育室はワンフロアで仕切りがなく全体を見渡せる環境になっている。棚を仕切りにして遊びのコーナーを作り、子どもが興味をもって遊ぶことができるように玩具を用意するなど、環境を整えている。</p> <p>子ども同士で歌を歌うなどして、楽しく過ごせるようにしている。</p> <p>子どもたちが登園すると朝の集まりをしている。みんなが集まると健康観察をして、朝の挨拶、体操、みんなで歌を歌い牛乳を飲むことを毎日行い、その後散歩に出かけたり、離乳食を食べるなど、年齢に応じてその日の見通しを立て、楽しく過ごせるようにしている。0歳児から2歳児までの保育なので、子どもの興味や関心に沿って心情や感情に寄り添い、丁寧に関わる援助を心がけるようにしている。</p> <p>子ども同士のトラブルは、原因を把握し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている</p> <p>入園のしおりに子どもの育ちについての項目があり、1・2歳児の欄には自己主張や友だちとのトラブルなどの年齢の特徴や園としての考えや対応方法などを記載し、理解を求めている。子ども同士のトラブルが生じた場合には、なぜ起こったのか原因をしっかりと把握するようにしている。危険を感じた時には引き離し、保育者が間に入るようにして、両方の子どもを抱っこするなど安心させ「わかっているよ」と子どもの気持ちを尊重し、共感するように関わるようにしている。</p>			

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
評価項目2の講評		
<p>家庭からは電子媒体を使い連絡が入るので内容を確認するとともに口頭でも確認している 登園時には家庭での子どもの様子は、9時30分までに電子媒体で送られてくることになっている。登園時には子どもの様子や健康面での状態を口頭で聞き取るようにして、文字では把握できない保護者の思いを含め把握するように心がけている。送られてきた子どもの家庭での様子や口頭で確認した健康面での配慮を必要とする子どもを全職員で確認し、その日の保育体制の確認をしている。</p> <p>保育士と栄養士が保護者と時間を取って話し合いをして、身につくように援助している 栄養士と保育士が送られてきた連絡帳の、前日の夕食や当日の朝食の内容を確認している。栄養士が家庭での献立内容をチェックし、栄養士が必要に応じて保護者に時間を取ってもらい、睡眠や食事の食べ具合などを確認するなど直接話すようにしている。特に、離乳期には個別に子どもの状態にあった進め方を、丁寧に話し合うようにしている。睡眠をとることは成長に欠かせない年齢と考え、家庭での生活のリズムや前夜の睡眠時間を確認して、個別に配慮できるようにしている。</p> <p>降園時には全職員が、子どもの様子を伝えることができている 降園時は全職員が勤務時間内ということもあり、保育士だけでなく栄養士や調理職員も保育室に出てきて、保護者を迎えている。保育士は日中の保育活動で経験した遊びで制作したものを掲示し、取り組みの様子を伝えたり、栄養士や調理職員は食事の場面で見た子どものエピソードを伝えるなど、それぞれの立場で見た子どもの姿を伝えることで、保護者と子どもの育ちを共有する機会になっている。</p>		

3 評価項目3		評点(〇〇〇〇〇〇)
日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価項目3の講評		
<p>保育室の空間を広く取り、遊び込める環境を保障している 昨年は子ども用ロッカーで保育室を仕切っていたが、仕切りを壁側に移動し、ワンフロアの広い空間にレイアウトを変更した。そして、3つの遊びのコーナーを設置するなど、子どもたちが自分で玩具を選んで遊びを楽しむことができるようにした。コーナーにはままごとや人形、キッチンなどの見立て遊びができる場や積木、ブロックなどと共に絵本コーナーやパズルがあり、片づけしやすいように棚には写真が貼られ、子どもが視覚を通して確認できるようになっている。</p> <p>朝夕の集まりでは音楽を流し、表現して遊ぶことを楽しめるようにしている 毎週の予定は玄関内に掲示し、保護者にも知らせている。具体的な内容や配慮点は保育室の壁にあるホワイトボードに記入し、共有できるようにしている。朝の集まりでは音楽を流して体操をして体を動かしたり、制作活動では大きなタンポを使ってドウを表現するなど、みんなで制作をする経験を通して楽しめるようにしている。言葉を獲得していく年齢なので、保育者が子どもの発している言葉を丁寧に受け止めることを通して、伝えることの嬉しさを体験できるようにしている。</p> <p>毎日天気が良ければ、マンションの公園や遊歩道に出かけている 天気が良ければ戸外に出かけることを、保育の主活動にしている。保育室の壁には散歩マップが掲示され、園舎周辺には4カ所の公園や河川沿いには遊歩道があるなど散歩先がわかるようになっている。マンションの前には柵に囲まれたキッズスペースがあり安心して遊べる場所があるなど、戸外活動の環境に恵まれている。マンションからの園児が多いので歩く経験が少ないので、道路を歩く経験をするなどを通して交通ルールを伝える機会にしている。</p>		

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>子どもたちが行事を楽しめるように、職員が打ち合わせを丁寧に行っている</p> <p>0歳児から2歳児の園なので、行事は何かをやらせるのではなく、子どもたちが楽しむことが大事だと考え企画している。行事の前には職員で打ち合わせをして、内容を話し合っているが、日常の保育の中で子どもたちの興味や関心を把握し、それに合わせて企画できるようにしている。企画書の中に目的やねらいを入れて、この年齢で行事を通して何を育てることが大事かを考えることができるようにしている。子どもたちが楽しめる夏祭りやスイカ割りなどの機会を大事にしている。</p> <p>図書館の多目的ホールを使用して、親子で楽しむ行事を実施している</p> <p>昨年は、園の近くの図書館の多目的ホールを借りて、クリスマス会を実施した。当日は親子でマラカスを作ったり、それを使って、みんなで歌を歌ったり、みんなで音楽に合わせて自由に表現をして楽しむなどの有意義な時間を過ごすことできた。今年はコロナ禍の中で、保護者と一緒の行事は誕生会を4月から6月生まれの誕生児を合同で行うなどの工夫して、親子の関係を大事にでき、一緒に楽しむことができるように企画し実施している。</p>		
5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>入り口に近いコーナーを保育の場所にして、くつろげるようにしている</p> <p>朝や夕方の時間は玄関に近いコーナーを保育の場にして、コーナーには積木やブロック、ままごとなど遊び慣れた遊具があり、年齢の低い子にとっては遊び慣れた環境や玩具があることで、安心して遊ぶことができている。降園時には玄関から入ってくる保護者を確認できたり、17時になるとほとんどの子が降園するので、全職員が子どもと一緒に過ごすことができているので、子どもたちはくつろいで過ごす姿が見られている。</p> <p>その子に合わせた遊びを提供して、楽しく過ごせるようにしている</p> <p>人数が少ないので子ども一人ひとりに合わせた遊びを提供している。絵本コーナーから絵本をもって来たり、パズルをやりたい子は持ってくるなど、自由に遊びを選ぶことを大事にして楽しく過ごせるように配慮している。職員は交代で勤務をしているが、小規模園なので子どもと職員はクラスの枠を超えて、日常的に関わっているので、子どもも保護者も顔なじみになっていることが、子どもにとって楽しく安心して過ごすことができる環境をつくることになっている。</p>		

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当
評価項目6の講評		
<p>食事スペースを作り、明るい雰囲気ですることができるように心がけている 食育の取り組みとして、例えば、0歳児の月の指導計画には、子どもの食べる気持ちを大切に、楽しく食事ができるようにすることを目標にして保育をしている。そのため、3つあるコーナーの一つを食事スペースとするなど工夫して、落ち着いて食事ができる環境をつくっている。食事は年齢ごとに食卓を囲みランチルーム形式で、みんなが見えるようにするなど、明るい雰囲気ですることができるように配慮している。</p> <p>区で作成した献立表を活用し、日々給食を提供している 区から毎月メールで献立表が送られてくるので、栄養士が献立を基に、給食を作っている。毎日の喫食状況は、献立日誌に味付けや彩り、喫食状況、残食などを記録している。区の栄養士が必要に応じて巡回に来るので、アレルギーの話の聞いたり、子どもの食事の様子との相談をするなど、給食以外の職員も学ぶ機会を持ち、子どもに美味しい食の提供ができるようにしている。</p> <p>食材の下ごしらえをしたり、3つの食品群で食に興味を持てるように働きかけている 具体的な保育内容の食育の欄に「旬の野菜に触れてみる」があり、実際に、トウモロコシの皮むきや枝豆のさやむきなどの活動を実施して、子どもたちが季節を感じる機会にしている。食わず嫌いの子もいたため、3つの食品群で大きくなれることや風邪をひかないこと、元気に遊べるなどの表を保育室の壁に掲示し、その日の給食の素材のイラストをマグネットで貼りだすなどして、視覚を通して子どもたちが食に興味を持つことができるよう工夫をしている。</p>		
7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当
評価項目7の講評		
<p>自分の身体の変化に気づいて、保育士に伝えることを大事にしている 0歳児から2歳児までの保育園なので難しいが、転んだしたり、虫に刺された時などに、痛いところや痒いところを自分から言ってきた時には丁寧に対応して、伝えることの経験を通して自分の体の変化に気づけるように働きかけている。保護者との距離も近いので、子どもの小さな変化への気づきをお互いに発信し合い、病気や怪我の予防や防止ができるようにしている。</p> <p>嘱託医と相談をしながら、子どもの健康に対応できるようにしている 年2回の定期健診を実施している。与薬はしていないので、日常的には嘱託医とは子どものことをメールで相談するなどの体制を整備している。子どもの年齢が小さいことと、看護師がいないので、看護師向けの研修に参加するなどして、新しい健康に関する知識や情報、専門的な知識を習得するための機会が必要と園長は感じている。</p> <p>感染症の予防のお知らせや乳幼児突然死症候群の予防のための取り組みをしている 入園のしおりには、保育園における登園基準一覧表が掲載され、感染症に罹患した場合には、集団での園生活が可能になってからの登園を促している。感染症が発症した時には園の玄関を入ったところに掲示して情報を提供し、感染の拡大防止に努めている。乳幼児突然死症候群の予防のため、玄関に近い保育室の壁にポスターを掲示し、保護者に周知している。また、午睡時には0歳児は5分おき、1・2歳児は10分おきに子どもが上向きに寝ているかを確認し、午睡チェック表に記録している。</p>		

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
評価項目8の講評		
<p>保護者の就労時間を把握し、必要に応じ急な保育の申し出にも対応を予定している 入園時の説明会や面接で保護者の勤務時間や就労状況を把握している。育児休業の復帰の状況や子どもの慣れ状況に応じて保育時間を延ばしている。保護者の就労状況は現在は短く、17時までには子どもの降園が終了する状況になっている。今後は保護者からの急な申し出など、必要に応じて柔軟に対応することを考えている。</p> <p>保護者と一緒に合同誕生会を開催するなどして、交流の機会をもっている コロナ禍の中で4・5月は休園をし、6月から保育を再開している。今年は個人面談を園長面談にして実施し、休園中の様子や保護者の想いを把握するようにしている。6月の保育再開前に、オンラインで保育を実施するなどの工夫をして保育活動に対する理解を促す機会になっている。9月には4月から6月生まれの子ども合同誕生会を開催し、保護者も参加して試食会もするなど、保護者同士の交流の機会にもなり、職員と保護者の信頼関係が深まる取り組みをしている。</p> <p>入園説明会で、園独自の子どもの育ちの資料を説明している 入園のしおりに園独自に園長が作成した子どもの育ちについてという文章が掲載されている。入園の説明会の中で、園長は年齢別の子どもの発達の特徴を説明し園での役割と同時に家庭へのお願いとして保護者に家庭の役割を伝えている。子どもの育ちでいつもと違うなど思ったら、どんなことでもいいので伝えてくださいと促したり、子ども同士のトラブルに対する園の考え方や対応方法なども年齢を踏まえて掲載するなど、きめ細かく説明をして理解を得やすいようにしている。</p>		
9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の方の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目9の講評		
<p>地域の図書館や地域のお祭りに参加し、多様な経験ができるようにしている 地域には神社や図書館があり、子どもたちは少人数で図書館に出かけ、絵本を読むなどの機会をもっている。また、自治会主催の神社のお祭りには雰囲気を感じに出かけ地域の人に触れるなどして、多様な経験ができる機会を大事にしている。川沿いの遊歩道に出かけたり、公園への散歩では声をかけてもらうなどの経験もあり、職員の挨拶をする姿などを通しての交流もある。</p> <p>町内会に加入したり、マンションの理事会に園の地域貢献活動を提案している マンション内にある保育園なので、管理人との関係を密に取っている。マンションの緑道にある水栓を使用できるようになり、手軽に水遊びを楽しむことができるようになったり、キッズルームも使用できるようになるなど子どもの遊びの場を広げることができている。園として地域貢献活動ができるようにしたいと考え、行事体験や誕生会の開催などをマンション理事会に提案するなど、地域に向けた活動を準備している。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	1-1-1	事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している
タイトル①	本部が手厚い支援を行っている	
内容①	本園では、昨年度の虐待の問題を受けて、本部の支援体制も、従来の1名体制から2名体制とした上で、そのうちの1名は頻繁に園を訪問して、園長の相談にのり、各種の改善を職員とともに進められるように取り組んでいる。また、職員研修についても、昨年度の後半から園長、職員だけでなく、本部職員も積極的に各種研修を受けたりするなど、多様な支援が出来るようにしている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	5-1-4	職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる
タイトル②	職員の働く環境の改善を積極的に行っている	
内容②	本園では、職員の働く環境の改善を図るため、職員の住宅として賃貸住宅の借り上げを行うとともに、職員の休息場所が園内では確保できないため、園から至近距離のアパートの1室を借り上げるなど、職員が安心して就労・休息ができる環境をつくっている。また、電子媒体で、指導計画や保育日誌を作成するなど、事務仕事の軽減を図っている。あわせて、職員の面接にあたっては、本部職員も同席することで、直接話ができるよう工夫されている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル③	「誕生会への保護者参加」を実行し、開かれた園として一歩を踏み出している	
内容③	運営状況を保護者によりオープンにすることを目的として、本年度から計画していた「誕生会への保護者参加」を実行し、3家庭の参加があった。今年は4・5月が休園し、6月に保育を再開した関係で、4月から6月の子どもの誕生会を合同で行い、保護者のニーズの高い、給食の試食会も行い、保護者同士のコミュニケーション創出にもつながり、家庭内での育児にも良い影響が感じられた。引き続き、取り組みを継続することとしており、コロナ禍が落ち着いたら、地域の子育て家庭にも誕生会や行事体験への参加を呼び掛ける構想を持っている。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	子どもが過ごしやすい環境にできるよう、コーナーの配置を変えるなどして遊びを広げている
	内容	ワンフロアの保育室を仕切っていた柵の配置を変更し、壁側に設置し直し全体を見渡せるようにしている。職員と相談しながら、コーナーを3つに分けて、絵本やパズル、手先の遊び、ままごとや人形、積木やブロックなどを手に取って遊べるように配置し、子どもの興味に応じて、遊ぶことができるように環境を工夫している。子どもたちは自分の遊びたい玩具をもって、好きな場所に行って遊ぶ姿が見られている。また、玩具の置き場所には、写真を貼るなどして、わかりやすくし、片付けにも興味を持てるようにしている。
2	タイトル	園長を中心に、チームワーク体制づくりを行っている
	内容	本園では、昨年度の虐待の問題があった後、2019年12月より新たな園長のもと、本部の支援体制の強化を図りつつ、職員が主体的に働くことができるよう、就労環境の改善のため、アパートの借り上げ等による職員の休息所の確保を図るとともに、職員と園長、本部職員との連携を深めることで、園長を中心としたチームワーク体制づくりを行っている。
3	タイトル	第三者委員を設置し、職員の研修や保護者や職員の相談にのってもらうなど、第三者委員を活用した園運営を行っている
	内容	本園では、昨年度に虐待の問題が発生したことを受けて、学識経験者の方に第三者委員をお願いしている。この第三者委員は、利用者が園や法人には言えないことがあった場合の相談先としてばかりでなく、職員に対しては、学識経験者の知見を活かして職員が希望すると研修を行ったり、保育の相談には随時応じてもらうなど、第三者委員を活用した園運営を行っている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	子どもの権利の視点で、不適切な関わりや虐待防止について学ぶ機会をつくることの検討を期待したい
	内容	0歳児から2歳児という年齢が低い子の保育にあたっては、保育者の援助の仕方や声のかけ方などが問われることになる。また、保育を実施するうえで、子どもの権利の視点で子どもとの関係を考えることが大切になる。子どもにどんな言葉をかけているのかを振り返ったり、虐待の防止の視点で不適切なかかわりはなかったのかなどの検証も求められる。職員研修の機会として子どもの権利条約について学んだり、具体的な場面でのかかわり方などを実践的に学ぶ機会を、職員全員で持つことを期待したい。
2	タイトル	事務仕事の能率化の流れの中で、積極的に機械システムを導入しているが、子どもの育ちを職員間で共有する機会をつくることを期待したい
	内容	連絡帳の電子システムの活用や保育関係の書類もパソコン上で処理するなど事務の能率化が進み、働く環境は改善されている。パソコンの場面に向かっての事務作業は自己流での子ども理解に陥る傾向が懸念され、子どもの姿を職員で共有し保育の計画に活かすことが必要になる。その時に子どもの成長を保育所保育指針と照らし合わせるなどしていくことが課題と園長は考えている。職員の子どもを見る目を育てるために、子どもの発達を知る機会をつくり、目の前にいる子どもの姿を見ながら職員間で共有するなどの話し合いの場をつくることを期待したい。
3	タイトル	マンションを含めた周辺地域の子育て支援プログラムを実践し、職員のやりがいにもつながることが期待される
	内容	本園は、足立区が認可する乳児を対象とする小規模の地域型保育所である。本園の立地上の特徴として、大規模マンションの1階に保育園が設置されている。現在の利用者にはマンション居住者も多く、管理組合との交渉の末、マンションの特徴であるキッズスペースや遊具も利用できるようになった。当該マンションは子育て世帯が多く、住まいに保育園のある事は魅力である。園と本部は連携して、専門性を活かした企画を温めている。コロナ禍を乗り越えて、マンションを含めた周辺地域の子育て支援拠点となり、職員のやりがいにもつながることが期待される。